

## (仮称) 伏古本町・札苗地区再編小学校

### 第1回新築検討協議会議事概要

- 1 日時  
令和7年(2025年)9月26日(金) 14:00~15:30
- 2 場所  
伏古小学校 2階多目的室
- 3 出席者  
別紙のとおり
- 4 協議会次第
  - (1) 開会あいさつ(学校配置マネジメント担当課長)  
令和5年度から保護者・地域・学校関係者で構成される学校配置検討委員会において、約1年半にわたり学校の小規模化による課題解消について検討し、伏古小と東苗穂小の再編という意見をまとめていただいた。  
札幌市は令和6年度に「札幌市学校施設維持更新基本計画」を更新しており、今後は建て替えを行う学校の校舎を80~100年維持することを目指している。  
地域・保護者・学校の皆様の理解を得ながら、皆さまと心をつなげて、より良い学校づくりに向けた検討を進めていきたい。
  - (2) 新築検討委員会・協議会の趣旨説明及び基本設計のスケジュールについて  
(学校配置マネジメント担当係長)  
【資料「新築検討委員会・協議会体系図」、「基本設計 想定スケジュール」】  
ア 新築検討委員会・協議会について  
新築の基本設計を行う際に、学校に立ち上げていただいている「新築検討委員会」に、札幌市関係担当部署、設計事業者を加えた「新築検討協議会」を本日開催していることを説明。  
イ 基本設計のスケジュールについて  
資料に基づき、新築検討協議会及び住民説明会の想定開催スケジュールを説明。
  - (3) 学校施設と児童会館の複合化について(整備事業推進担当係長)  
【資料「学校施設と児童会館の複合化について」】  
伏古小学校と東苗穂小学校の通学区域内にある伏古児童会館及び東苗穂児童会館を、今回の校舎新築にあわせて、新校舎と複合化した児童会館として整備する旨、複合化後の児童会館の概要、整備内容について説明。
  - (4) 新校舎の配置計画案について(施設整備係)  
【資料「(仮称)伏古本町・札苗地区再編小学校新築ほか工事基本設計 第1回新築検討協議会」、「(仮称)伏古本町・札苗地区再編小学校 新校舎の配置検討案について(映像資料)」】  
ア 基本方針・設計の考え方  
「多様で柔軟な学習空間」、「健やかな学習・生活環境」、「地域との円滑な連携」、「環境への配慮」の4点を目標として施設整備を計画している旨説明。  
イ 配置計画案について  
「小学校施設整備指針(文部科学省大臣官房文教施設企画・防災部)」、「(仮称)伏古本町・札苗地区再編小学校新築ほか工事基本計画」及び敷地の周辺環境や

現状建物配置から、「安心安全で機能的な学校」、「周辺環境との調和」、「屋外環境」、「経済性」、「工期・施工計画」の5つをポイントに施設配置計画を進める旨説明。

現校舎位置での建て替えについては、全体工程やグラウンドの使用不可期間が長くなること、引っ越し作業が2回となること、仮設校舎の建設により多額の費用が発生すること等、複数の課題があることから、既存校舎を使いながら現在のグラウンド側に校舎を建てる配置計画A案が望ましいと考えている旨説明。

#### ウ 事業スケジュール

現状の想定では、令和7年度基本設計、令和8年度～令和9年度実施設計、並行して令和9年度工事着手である旨説明。

#### (5) 配置計画案等に関する主な意見・質疑応答

| 質 疑                                                                   | 回 答                                                                 |
|-----------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|
| 校舎などを敷地内でセットバックすることで、敷地隣接の歩道を広くとる案は良いと思う。歩道を拡幅するのは敷地北東側と南西側の2方向のみか。   | 児童と車の動線を分けるために、北西側と南東側の歩道は拡幅しない考え。                                  |
| 校舎とグラウンド間の通路には、ひさが設置される想定とのことだが、他校でも同様の例あるか。また、地域住民も通れるか。             | 事例はある。運用については、今後の学校との調整次第だが、セキュリティを考慮し、児童と地域住民の動線は分けた方が良いという考え方もある。 |
| 新築後は、グラウンドの面積が現状より狭くなるのか。                                             | 現状と同程度の広さを想定している。遊具をグラウンドの外に置くなどの工夫により余裕スペースも出てくると思われる。             |
| 配置計画案等についての意見                                                         |                                                                     |
| 校舎の配置は、現在のグラウンド側に配置するA案が良いと思う。                                        |                                                                     |
| 資料には、法に基づく日影の線が記載されている。年明けに地域住民や保護者を対象とした説明会を行う際には、実際の日影の線まで記載した方が良い。 |                                                                     |
| 次回までに高低関係の分かる資料を用意してほしい。                                              |                                                                     |

#### 【結論】

学校配置については、今回提案した配置計画A案をベースとして設計を進め、次回協議会では教室等の詳細配置を検討することとする。

#### (6) 新築検討委員会委員長あいさつ(伏古小学校長)

本日の協議の中では、新校舎をグラウンド側に建設する配置案で設計が進んでいく結論となったが、そのような中で私共学校の中で考えていることは、子どもの動きや保護者、児童会館利用者の動きが、新し校舎の中でどのような動きになるのか構築されていくのか、色々想像しながら考えていく必要があると認識した。

特に、学校は、教育現場であると同時に、学校開放や避難所として地域の方々も利用されるという側面もある。教育と地域利用が上手いことすみわけ、セキュリティの問題を解決できるよう考えて設計が進んでいくとよい。

そういう意味では、本日の皆さまからのご意見は非常に新たな視点に気付かされた。子どもの安全、地域の方々とともに歩んでいける新しい校舎となるよう、次回の協議会でも、たくさんのご意見をいただきたい。

以上